

中野市市民会館整備方針(案) 市民説明会

「ここじゃ…」を「ここで!」に変える

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 市民会館整備方針(案)について
- 4 質疑
- 5 閉会

- 期日
令和2年2月18日(火) 市民会館41号会議室
令和2年2月19日(水) 豊田文化センター会議室
- 時間
午後6時30分～



方針(案)の構成

- 1 経過と現状
- 2 市の財政状況と公共施設の長寿命化に関する全国的な動き
- 3 現市民会館のリノベーションについての検証
- 4 市民会館整備の方向性
- 5 リノベーションの進め方
- 6 その他



1 経過と現状

(1) 経過と現状

■ホール棟



地下1階地上3階建て 延床面積2,157㎡

■会議室棟



2階建て 延床面積1,127㎡

建設 昭和44年 / 構造 鉄筋コンクリート造

■建設から50年が経過

- ホール棟の耐震性が不足
- 各種設備の老朽化が著しく、現在必要とされる施設機能が不足しており、利用しにくい施設となっています。



1 経過と現状

(1) 経過と現状

■市庁舎及び市民会館の整備について (平成25年12月策定)

施設名	立地	整備手法	スケジュール
市庁舎	旧庁舎敷地	建て替え	平成29年度供用開始
市民会館	旧中野高校敷地	建て替え	平成32年度供用開始

その後.....

- 労務費の急激な上昇などにより計画したスケジュールでの建設は財政面から難しい状況
- 市民会館は当面現在の建物を利用することに



1 経過と現状

(2) 耐震診断の実施状況

■市民会館ホール棟のIs値

年度	Is値 (構造耐震指標)	目標とするIs値
平成21年度	0.23～1.93	0.75
平成25年度	0.22～1.82	
令和元年度	0.22～1.82	

ホール棟において基準を満たしていない部分があり、
建物全体としては耐震性能が不足

震度5弱から5強の中地震で、耐震性能が最も低い部分では、
被害を受けるものの、建物全体では倒壊しない範囲

Is値：建物の耐震性能を表す指標で、値が大きほど耐震性が高い。

- 0.3未満 倒壊又は崩壊する危険性が高い。
- 0.3以上0.6未満 倒壊又は崩壊する危険性がある。
- 0.6以上 倒壊又は崩壊する危険性が低い。

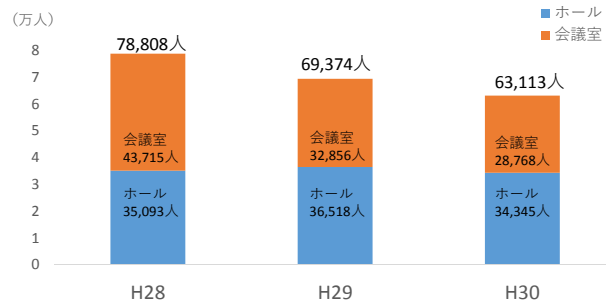
市民会館は、不特定多数の人が使用するため、構造耐震判定指標を 0.6×1.25 (用途係数) = 0.75とする。



1 経過と現状

(3) 利用状況

■市民会館の利用者数の推移



利用者数は減少傾向

<要因>

- 市外に新たな文化ホールが建設
- 小中規模のイベントでは使用しにくい
- 施設の老朽化などにより魅力が低下
- 行政利用の減少による会議室の利用減少



2 市の財政状況と公共施設の長寿命化に関する全国的な動き

(1) 市の財政状況

歳入

人口減少、自然災害の影響などに伴う減少のほか、普通交付税においては、合併算定替えの縮減などにより**減少傾向**

歳出

社会保障関連経費や大型事業経費の増加が見込まれ、基金の取崩額や市債の発行額も**増加傾向**

- 財政状況の好転は見込まれない
- 多額な費用を伴う事業は様々な財源を充てることにより、一般財源の負担を軽減していく必要がある



2 市の財政状況と公共施設の長寿命化に関する全国的な動き

(2) 公共施設の長寿命化に向けた国や市の考えなど

■国の考え方

- ✓ 「新しく造ること」から「賢く使うこと」への転換
- ✓ 鉄筋コンクリート造の耐用年数は**70～80年程度**
- ✓ 公共施設の長寿命化に対して**有利な地方債制度**を創設

■市の考え方

- ✓ 平成29年度に「中野市公共施設最適化計画」を策定し**長寿命化を推進**
- ✓ 「中野市公共施設保全ガイドライン」では、鉄筋コンクリート造施設の**目標使用年数を80年程度**としている



3 現市民会館のリノベーションについての検証

(1) 劣化状況についての検証

■劣化状況調査の結果

- ✓ 構造体であるコンクリートの劣化は平均的な状況
- ✓ 必要な耐震補強を行うことで耐震性能を満足し、利用者の安全・安心を確保することが可能
- ✓ 劣化防止対策を行い適正な保全管理を行った場合、目標使用年数を80年以上とした長寿命化が可能



3 現市民会館のリノベーションについての検証

(2) 財源・事業費についての検証

新築

有利な地方債などの財源がない

リノベーション による長寿命化

交付税措置のある有利な地方債を活用可能

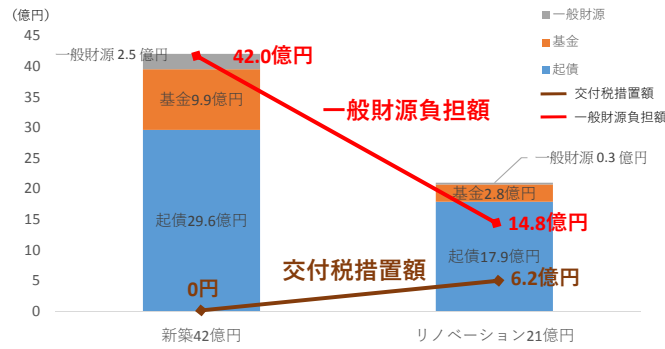
- 公共施設等適正管理推進事業債
充当率90%、交付税措置率30~50%、H29~R03



3 現市民会館のリノベーションについての検証

(2) 財源・事業費についての検証

■新築又はリノベーションによる一般財源負担額の比較 (見込み額)



➤ リノベーションの方が基金の充当と市の一般財源を大きく抑えることが可能



3 現市民会館のリノベーションについての検証

(2) 財源・事業費についての検証

■今後の施設維持に係る費用 (ライフサイクルコスト) の比較 (見込み額)

上段：一般財源負担額 / 下段：(事業費)

手法	今後の使用期間 ①	既存施設解体費 ②	新築工事費 ③	長寿命化改修費 ④	中規模修繕費 ⑤	費用合計 ⑥ (2+3+4+5)	単年度あたり ⑦ (⑥/①)
新築	80年	1億円 (1億円)	42億円 (42億円)	21億円 (21億円)	16.8億円 (16.8億円)	80.8億円 (80.8億円)	1億100万円 (1億100万円)
リノベーション	30年	-	-	14.8億円 (21億円)	8.4億円 (8.4億円)	23.2億円 (29.4億円)	7,700万円 (9,800万円)

➤ リノベーションの方が一般財源の負担が少ない



3 現市民会館のリノベーションについての検証

(3) 課題解消等についての検証

■ 現市民会館の課題と対応方法

現市民会館の課題	対応方法
耐震不足	耐震補強
老朽化	内外壁などの必要な補修と劣化防止対策
機能不足 ユニバーサルデザインへの対応不足 舞台設備の陳腐化	建物内部や設備の大幅な改修、一部解体や増築、転用など

■ 現市民会館に追加することができる新たな機能

新たな機能	内容
鑑賞・発表機能の充実	音響の優れたホール環境、広い舞台や客席、親子で鑑賞室、使いやすい楽屋、多目的利用が可能なホールなど
創造支援機能の追加	文化芸術活動やリハーサルに対応できる練習室、大音量に対応できる防音機能など
交流機能	芸術作品の展示が可能なギャラリーや展示スペース、多目的に使用できる交流スペースなど



4 市民会館整備の方向性

■ 整備の方向性

現市民会館をリノベーションにより整備します

■ 理由



1 安全・安心の確保

耐震補強を行うことで早期に利用者の安全・安心を確保し、今後30年以上の使用を前提とした長寿命化を図ります。



2 財政負担の軽減

新市民会館を新築する資金の調達が困難である一方で、現市民会館の長寿命化に有利な地方債を活用することで、今後の市財政への負担軽減を図ります。



3 新たな価値の創造

リノベーションにより現市民会館の課題を解消し、新たな価値を創造します。



5 リノベーションの進め方

(1) リノベーションのテーマ・コンセプト

■ テーマ

「ここじゃ…」を「ここで！」に変える

- 中山晋平先生、高野辰之博士、久石譲氏の故郷
音楽都市「中野市」にふさわしい施設を目指します

■ コンセプト



ホールの客席や音響などを整え、音楽や演劇など多様な文化芸術に触れる場を創造します。



舞台環境などを整えるとともに、小規模な催しでも使用できる多目的ホールなどを設けることにより、多様な表現の場を創造します。



表現活動などでもできる交流スペースなどを設けることにより、多様な文化芸術や人々が集まりつながる場を創造します。



5 リノベーションの進め方

(1) リノベーションのテーマ・コンセプト

■ 「ここじゃ…」を「ここで！」に変える

現在の 市民会館

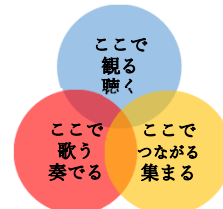
古く老朽化したマイナスイメージ

- ・ 「ここじゃ楽しくない…。」
- ・ 「ここじゃ使いにくくて…。」

リノベーション 新たな価値の創造

ワクワクする市民会館に！

- ・ 「ここで聴きたい！」
- ・ 「ここで歌いたい！」
- ・ 「ここでつながりたい！」



リノベーションにより新たな価値を創造することで、
これから先も世代を超えて市民の皆さんに愛される市民会館に



5 リノベーションの進め方

(2) リノベーションの内容

■リノベーションにおいて検討する内容

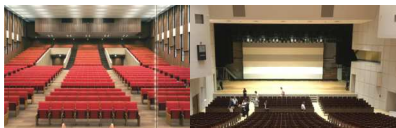
耐震補強、外装改修、内装改修、バリアフリー化、ホール客席の入れ替え、親子鑑賞室の新設、ホール内の音響改善、トイレを1階へ新設、舞台の拡張、舞台の裏動線の確保、楽屋を1階へ新設、機械室棟の解体、空調設備の改修、照明・舞台設備の改修、交流スペースの新設、多目的ホールの新設、外構改修など

- ✓ リノベーションの内容は設計を行う中で検討します
- ✓ 設計は市民の皆さんや利用される方々のご意見をお聞きしながら進めます



5 リノベーションの進め方

(2) リノベーションの内容



▲優れた音響とゆったりとした客席
広く環境の整った使いやすい舞台



▲トイレ・楽屋は1階に新設



▲演奏会やレセプション、ギャラリー
にも使用できる多目的ホールを新設



▲ミニコンサートやギャラリーなど、多様な使い方ができる交流スペースを新設



5 リノベーションの進め方

(3) 想定事業費・財源

■ 想定事業費

21億円（設計・監理、リノベーション工事、備品購入）

現市民会館の課題解消や新たな機能の追加に必要な費用を踏まえるとともに、市の財政への影響を考慮し21億円とします。

■ 財源

財源	金額
公共施設等適正管理推進事業債	14.4億円
一般単独事業債	3.5億円
公共施設等整備基金	2.8億円
一般財源	0.3億円
合計	21億円

広く寄付金を募り、市財政への負担軽減に努めます。



5 リノベーションの進め方

(4) スケジュール

■ スケジュール



✓ 令和4年10月までの供用開始を目指します。



5 リノベーションの進め方

(5) 工事中の市民会館利用

工事期間中	市民会館は休館
休館期間	概ね15カ月程度（詳細は設計で検討）

■市民会館休館中の代替施設

利用形態	主な代替施設
ホール	豊田文化センターホール（定員405人+イス席102人） 中央・北部・西部公民館の講堂等（定員各300人） 市民体育館、コミュニティースポーツセンター等
会議室	中央公民館 人権センター 職業訓練センター



5 リノベーションの進め方

(6) 運営方法の検討

施設の特異性や専門性、効率化などを踏まえ、
指定管理者による管理運営も検討することとします。

■近隣ホール管理運営比較（参考）

施設名	運営形態	管理運営費 指定管理料 (H30年度)	施設概要
中野市市民会館	市直営	26,084千円	大ホール1,012席 楽屋2、会議室7など
長野市芸術館	指定管理者	361,801千円	メインホール1,292席 リサイタルホール293席 アクトスペース219席など
須坂市文化会館 (メセナホール)	指定管理者	95,750千円	大ホール1,124席 小ホール305席など
飯山市文化交流館 (なちゅら)	市直営	41,800千円	大ホール500席 小ホール171席など



6 その他

■旧中野高校跡地利活用

新市民会館を建設することとしていた旧中野高校跡地の利活用については、今後、公共施設最適化計画の中で検討を進めることとします。



ご意見を募集しています

■募集期間 2月26日（水）まで

■ご意見の提出方法

電子メール

bunshin@city.nakano.nagano.jp

郵送

〒383-8614

中野市役所文化スポーツ振興課文化振興係

ファクス

0269-22-2295

持参

中野市役所文化スポーツ振興課

豊田支所地域振興課

■様式

任意様式

